

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月28日

【評価実施概要】

事業所番号	4590100204		
法人名	有限会社ゆたか		
事業所名	グループホームゆたかの郷		
所在地	宮崎県宮崎市高岡町小山田65番地4 (電話) 0985-30-9750		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成22年3月11日	評価確定日	平成22年4月28日

【情報提供票より】 (平成22年2月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 19年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤7人, 非常勤2人, 常勤換算7.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(平成22年2月21日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	1	要介護2	1		
要介護3	4	要介護4	3		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人慶明会けいめい記念病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは宮崎市内より西へ車で約15分程、国道から少し入りこんだ場所にあり、地域環境として、郵便局、市営住宅や民家、同法人の有料老人ホーム二棟に囲まれ、施設という違和感なく存在している。居間からは、山間の樹木や利用者が育てている菜園や花壇を眺めることができる。天気の良い日は日光に当たることを心がけ、敷地内のあずま屋に出かけてお茶を飲んだり、歌ったり、地域住民との交流や地域行事等に参加するなど、利用者が地域住民の一人として穏やかに安心して過ごせる支援や工夫を積極的に行っている。常に、利用者と職員が一緒にゆったりと過ごせるように職員数が確保されており、なじみの関係づくりや利用者の希望に合わせた個別ケアができています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価に対し、改善計画シートを作成して着実に改善を行っている。理念の共有と日々の取り組みでは、毎朝の申し送り時に職員で唱和して理念を共有したり、入浴を楽しむことができる支援は、利用者の意向を第一に体調に配慮したうえで入浴支援を行う等、改善に向けた努力がある。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、よりよいホームづくりに向けて運営者、管理者、職員が一丸となって取り組んでいる。現状を分析、検討し、全職員で評価の一連の過程を通じ、質の向上や確保のために日々努力をしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は利用者、家族、地域住民の代表、地域包括支援センターの職員等の参加の下、開催している。会議の開催により、ホームへの理解と協力関係が構築され、会議で取り上げられた検討事項や意見は、ホーム全体の問題として前向きに改善していく姿勢がある。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	全職員が、家族のその時々への訪問に対し、感謝の気持ちで接しているの、家族が意見を出しやすい雰囲気になっている。家族会においても、ホームへの協力関係や意見を出しやすい環境づくりがなされており、家族の意見等を取り入れた運営が行われている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、冠婚葬祭は必ず対応しており、公民館、神社の掃除、花壇の整備、夏祭り等にも利用者や職員で参加している。地域住民との朝夕のあいさつ、ホーム行事への声掛けやホームの菜園で収穫した野菜を近所に届けたり、いただいたりと交流は活発で利用者や職員が地域住民の一人として、気持ちで向きあうという姿勢を持ち続けた関係づくりがなされている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域住民の一人として穏やかに過ごせるように、なじみの関係づくりや利用者の希望に合わせたケアを家族と同じ思いで支援するという理念がつけられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員ともに理念を共有しており、毎朝の申し送り時に話し合う等、理念に基づいた取り組みを行なっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、冠婚葬祭は必ず対応し、公民館、神社の掃除、花壇の整備、夏祭り等にも参加している。地域の人との朝夕のあいさつ、ホームの行事への声掛けやホームの菜園で収穫した野菜を近所に届けたり、いただいたりとの交流は活発である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員、共に評価の意義を真摯にとらえ、改善事項を積極的に検討する取り組みがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催により、ホームへの理解と協力関係が構築されており、運営会議で取り上げられた検討事項や意見はホーム全体の問題として前向きに改善していく姿勢がある。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者を交えて、現場や利用者の課題解決のために相談を行う等、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の買い物を累計した請求書と一緒に、利用者のホームでの生活状況やゆたか便りを同封して郵送している。また、家族の来訪時にも細やかに報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族のその時々々の来訪を大切にし、細やかに利用者の近況報告を行い、また、家族からもいろいろ意見を聞き、出された意見や要望は職員で話し合い運営に生かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	継続したかかわりの中で、なじみの関係が築ける支援として、異動を必要最低限に抑えるような取り組みが行われている。やむを得ず代わる場合は、利用者きちんと説明を行い、認知症ケアを理解した職員を配置し、他の職員がカバーすることで十分に対応している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内・外の研修への参加機会を多く持ち、職員を育てる取り組みがなされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内の同業者と交流もあり、他事業所の見学や協力医主催の認知症勉強会への参加を行っている。「一生懸命考えて仕事ができること」をモットーに学習会や交流を通して、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用開始から、本人が職員や他の利用者に徐々になじむように、お茶や好きなレクリエーション活動に参加できる時間を多くついたり、ホームの生活が安定するまで家族等に来訪依頼をするなど、安定的な移行に配慮した支援を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	高齢の利用者が多い中、職員は先輩から学ぶという姿勢で、一人ひとりに個別に向き合う時間や個性を重視しながら和やかに生活ができる支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	菜園や花壇の手入れ、洗濯物たたみ、茶葉の袋詰め、おやつ作り、パズル、ピアノ演奏、習字、故郷訪問等、本人の意向を尊重した取り組みと職員数の確保により寄り添ったケアが丁寧になされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の職員会議等において、ケアのあり方や本人、家族の意向を取り入れた介護計画の検討をしている。職員は、何度もアセスメント様式の勉強をして利用者主体の暮らしを反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態の変化に応じて、カンファレンスを行い、新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一泊旅行や故郷訪問、家族の状況に応じた病院受診、また、同法人の事業所やデイサービスにホームの利用者の顔なじみがいるので訪問する等、柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医と一緒に勉強会を開催していることもあり、利用者の日常生活状態や、利用者の受診結果に関する情報の共有もできている。また、本人や家族の要望を聞き、利用者の状態に応じた訪問診療や病院受診が、柔軟かつ適切に受けられる環境が整備されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応方針を定め、カンファレンスで本人や家族の意向を聞き、医師、看護師を交えて十分に話し合いを行い、重度化に伴う意志確認書を作成している。訪問看護や訪問診療等の体制も確立している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者への丁寧な言葉かけを行い、一人ひとりを尊重したケアがなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの個性を認め、その日その時の本人の気持ちを尊重して、優しく見守り、寄り添いながら利用者のペースに合わせた支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	心が落ち着くさりげないバックミュージックが流れる中、職員が利用者を思いやる言葉を掛けて食事を楽しんでもらえるように支援している。一日30種類の食材を使い、おいしく栄養価の高い食事を専門職が作り、利用者と職員が準備と後片づけをしている。	○	ホームでは、利用者と職員で食事とおやつを週に1回ずつ作り、一緒に食べる取り組みがなされている。さらに今後、食事の一連の作業を利用者と職員が一緒に行い、同じテーブルを囲んで食事を楽しめる環境づくりを前向きに検討されることを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の意向を第一に、体調に配慮したうえでの入浴支援が行われている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の豊富な経験を引き出し、一人ひとりの得意分野で力を発揮してもらえるように支援している。ぬか漬け、野菜や花作り、ピアノ演奏、習字等の経験や知恵を発揮する場面、買い物、散歩も多く取りいれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	心身の活性につなげ季節を肌で感じてもらうように、日常的に散歩や買い物、ドライブ等に出かけている。家族を交えての夕食、敷地内のあずま屋でのお茶、近くの公共施設への訪問、同法人内の他事業所利用者との交流等の支援が行われている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に帰宅願望や徘徊行動をする利用者があり、朝夕の一時期、状況に応じて玄関の施錠を行うことがある。運営者、管理者、職員は鍵をかけることの弊害を十分理解しており、職員の見守りの方法を徹底し、可能な限り自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームでの避難訓練の実施、災害時の防災計画に沿って地域との避難訓練や法人の施設を災害時の避難場所として提供する等、地域と連携して協力関係を築いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節の食材を摂取することで五感刺激への配慮と栄養バランス、また、暮らし全体を通じた一人ひとりの食の支援、摂取量や水分量の確認と健康に留意した支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	わが家同様、ホームの中を利用者と職員が一緒に掃除したり活動できる快適な空間が設けてあり清潔で居心地が良い。また、音楽療法を取り入れた音楽が和やかな時間の流れを作っている。居間から眺められる外の風景は、光や風の動き、木々の変化を感じ取れる環境にある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れた日用品、居室の壁にはホームで作った作品が掲示してある。また、写真や人形、仏壇には花が飾られたりと利用者一人ひとりが安心して過ごせる工夫がしてある。		

※  は、重点項目。